

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和3年1月7日(2021.1.7)

【公開番号】特開2020-128093(P2020-128093A)

【公開日】令和2年8月27日(2020.8.27)

【年通号数】公開・登録公報2020-034

【出願番号】特願2020-86394(P2020-86394)

【国際特許分類】

B 4 1 J	17/36	(2006.01)
B 4 1 J	17/04	(2006.01)
B 4 1 J	2/325	(2006.01)
B 4 1 J	17/32	(2006.01)
A 6 1 J	3/00	(2006.01)

【F I】

B 4 1 J	17/36	Z
B 4 1 J	17/04	
B 4 1 J	2/325	A
B 4 1 J	17/32	A
A 6 1 J	3/00	3 1 0 E
A 6 1 J	3/00	3 1 0 F

【手続補正書】

【提出日】令和2年11月18日(2020.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

印字ヘッドでインクリボンと包装用連続シートとを互いに接触させて上記包装用連続シートに印字を行うとともに、上記包装用連続シートを用いて薬剤を1包分ずつ包装する薬剤包装装置において、

インクリボンロールの供給芯に設けられた記録媒体から情報を読み取るとともに上記記録媒体に情報を書き込むアンテナ付きのリーダライタと、

上記インクリボンロールにおけるインクリボンを巻き取り方向に走行させる速度を V_1 、上記包装用連続シートの送り速度を V_2 とすると、 $V_1 > V_2$ となるように、巻取り芯を支持する巻取り側支持軸を回転させる巻取りモーターを、上記記録媒体から読み取った情報であるインクリボンの使用量または残存量に基づいて制御する回転速度制御部と、

上記巻取りモーターの駆動力を上記巻取り側支持軸に伝達する駆動力伝達経路に設けられ、上記インクリボンと上記包装用連続シートとが互いに接触する印字時に、上記インクリボンを上記速度 V_2 と同じ速度で走行させるためのトルク伝達制御部と、

上記インクリボンの使用により変化した上記インクリボンの使用量または残存量を示す情報を上記記録媒体に書き込む情報として上記リーダライタに出力する情報出力部と、

上記インクリボンロールに捲回された上記インクリボンの後端に形成されている光反射領域を検知するインクリボン終了検知部と、を備えており、

上記アンテナと上記記録媒体との間に上記光反射領域が介在する状態で電波の送受信が行われ、上記光反射領域は樹脂製であり、

上記包装用連続シートとして2枚折りされた2枚折り包装用連続シートのロールを用い

、上記ロールから取り出した上記2枚折り包装用連続シートを一対のヒータローラによつて搬送しながら上記2枚折り包装用連続シートに印字を行い、1包分の印字が終了する毎に、上記2枚折り包装用連続シートに対する上記印字ヘッドの押圧を解除することを特徴とする薬剤包装装置。

【請求項2】

印字ヘッドでインクリボンと包装用連続シートとを互いに接触させて上記包装用連続シートに印字を行うとともに、上記包装用連続シートを用いて薬剤を1包分ずつ包装する薬剤包装装置において、

内側筒が外側筒に挿入され上記内側筒と外側筒との間に隙間が形成される構造の供給芯にインクリボンが捲回されており、上記隙間に記録媒体が設けられているインクリボンロールと、

上記インクリボンロールの上記供給芯に設けられた上記記録媒体から情報を読み取るとともに上記記録媒体に情報を書き込むアンテナ付きのリーダライタと、

上記インクリボンロールにおけるインクリボンを巻き取り方向に走行させる速度を V_1 、上記包装用連続シートの送り速度を V_2 とすると、 $V_1 > V_2$ となるように、上記インクリボンロールの巻取り芯を支持する巻取り側支持軸を回転させる巻取りモーターを、上記記録媒体から読み取った情報であるインクリボンの使用量または残存量に基づいて制御する回転速度制御部と、

上記巻取りモーターの駆動力を上記巻取り側支持軸に伝達する駆動力伝達経路に設けられ、上記インクリボンと上記包装用連続シートとが互いに接触する印字時に、上記インクリボンを上記速度 V_2 と同じ速度で走行させるためのトルク伝達制御部と、

上記インクリボンの使用により変化した上記インクリボンの使用量または残存量を示す情報を上記記録媒体に書き込む情報として上記リーダライタに出力する情報出力部と、

上記インクリボンロールに捲回された上記インクリボンの後端に形成されている光反射領域を検知するインクリボン終了検知部と、を備えており、

上記アンテナと上記記録媒体との間に上記光反射領域が介在する状態で電波の送受信が行われ、上記光反射領域は樹脂製であり、

上記包装用連続シートとして2枚折りされた2枚折り包装用連続シートのロールを用い、上記ロールから取り出した上記2枚折り包装用連続シートを一対のヒータローラによつて搬送しながら上記2枚折り包装用連続シートに印字を行い、1包分の印字が終了する毎に、上記2枚折り包装用連続シートに対する上記印字ヘッドの押圧を解除することを特徴とする薬剤包装装置。

【請求項3】

印字ヘッドでインクリボンと包装用連続シートとを互いに接触させて上記包装用連続シートに印字を行うとともに、上記包装用連続シートを用いて薬剤を1包分ずつ包装する薬剤包装装置において、

内側筒が外側筒に挿入され上記内側筒と外側筒との間に隙間が形成される構造の供給芯にインクリボンが捲回されており、上記隙間に記録媒体が設けられているインクリボンロールと、

上記インクリボンロールが着脱自在に装着されるインクリボンカセットと、

上記インクリボンカセットの外側の位置から上記インクリボンロールの上記供給芯に設けられた上記記録媒体から情報を読み取るとともに上記記録媒体に情報を書き込むアンテナ付きのリーダライタと、

上記インクリボンロールにおけるインクリボンを巻き取り方向に走行させる速度を V_1 、上記包装用連続シートの送り速度を V_2 とすると、 $V_1 > V_2$ となるように、上記インクリボンロールの巻取り芯を支持する巻取り側支持軸を回転させる巻取りモーターを、上記記録媒体から読み取った情報であるインクリボンの使用量または残存量に基づいて制御する回転速度制御部と、

上記巻取りモーターの駆動力を上記巻取り側支持軸に伝達する駆動力伝達経路に設けられ、上記インクリボンと上記包装用連続シートとが互いに接触する印字時に、上記インク

リボンを上記速度 V_2 と同じ速度で走行させるためのトルク伝達制御部と、

上記インクリボンの使用により変化した上記インクリボンの使用量または残存量を示す情報を上記記録媒体に書き込む情報として上記リーダライタに出力する情報出力部と、

上記インクリボンロールに捲回された上記インクリボンの後端に形成されている光反射領域を検知するインクリボン終了検知部と、を備えており、

上記アンテナと上記記録媒体との間に上記光反射領域が介在する状態で電波の送受信が行われ、上記光反射領域は樹脂製であり、

上記包装用連続シートとして 2 枚折りされた 2 枚折り包装用連続シートのロールを用い、上記ロールから取り出した上記 2 枚折り包装用連続シートを一対のヒータローラによつて搬送しながら上記 2 枚折り包装用連続シートに印字を行い、1 包分の印字が終了する毎に、上記 2 枚折り包装用連続シートに対する上記印字ヘッドの押圧を解除することを特徴とする薬剤包装装置。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 請求項 3 のいずれか 1 項に記載の薬剤包装装置において、上記リーダライタの上記アンテナとして板状の 2 枚のアンテナが接続されており、上記 2 枚のアンテナは、その電波送受信面が上記供給芯の周面に対面し且つ上記電波送受信面の向きが交差するように配置されていることを特徴とする薬剤包装装置。